

令和4年度 自己評価・年間反省

コロナ渦が続き、行事は延期や中止なども継続するものもありましたが、前年度より確実にできる事が増えたと思います。日々感染対策をしながら、子どもたちにとって必要な保育は、出来たように思います。

運動会は、流行に煽りを受けて延期が重なりました。練習期間も延びましたが、年長児の保護者には観覧する機会が設けられました。子どもたちには、どんなことでも達成感が味わえる保育を目指しましたが、実際に観客がいることで頑張りも大きくなるのが伝わってきました。

発表会も無事開催し、保護者にも子どもたちの成長を見せることも出来ました。

3年ぶり、4年ぶりにできた行事もあり、冬まつり見学などもその一つでした。子どもたちがバスに乗ることも初めてだったり、冬まつりを知らなかったりと、コロナの影響は大きかったですが、少しずつコロナ前に保育や行事が戻ってきました。職員も感染対策はそのままに、子どもたちの安全安心を第一に考え、保育できるよう努めました。

そしてなにより子どもたちが、嬉しくわくわくと行事に参加する姿を多く見られた1年でした。職員の研修では、引き続き運動遊びが発達に影響する知識を深め、和太鼓、マーチングなども更に深く理解出来るよう実技も受け、すぐに保育に活用できるようにしました。近年問題視されている置き去りによる事故、虐待、不適切保育についても研修に参加し、保育士一同理解を深めました。コロナ渦によって見直す保育も多かったですが、どんな環境でも子どもたちにとって楽しく園生活が出来る工夫ができたことは、園にとってもたくさんの学びがありました。来年度もいろんな事態を経験したことを活かし、全職員が子どもたちに寄り添い、連携をとって質の良い保育を行いたいと思います。